



## 滋賀医科大学で「形成外科」の診療を開始

滋賀医科大学医学部附属病院は、平成28年10月1日より、「形成外科」を開設します。

長年、アザや手術・外傷後のケロイドは「生命に関わるものではない」と治療上重要視されない傾向にありました。しかし、近年 QOL (Quality of Life: 生活の質、充実感、満足感を持って社会生活を送ること) の向上も考えた医療の提供が重視されるようになってきました。この要望に応えるため形成外科を新設し、身体の変形、欠損、整容的不満足に対して特殊な技術を用いて治療します。

本邦では約50年前にできた診療科で、形成外科を設置する病院は年々増加し、現在は47都道府県のうち40以上の県の大学病院に形成外科があります。滋賀医科大学でもこのたび患者さんの QOL 向上の目的で、開設することになりました。

外来診療は、月曜午前は岡野純子医師、水曜午前は鈴木義久医師が担当します。

つきましては、形成外科の開設について、広く市民に周知いたしたく、報道方よろしくお願いいたします。

## POINT

### 形成外科の診療対象例

- 先天異常疾患（唇裂口蓋裂、合多指（趾）症、外耳の変形）
- やけどややけど後のひきつれ
- 乳がん術後の再建（乳腺外科と協同して行います）
- 皮膚のできもの
- 眼瞼下垂
- ケロイド
- 顔面骨骨折、顔面のケガ
- 顔面神経麻痺後の再建
- 母斑、血管腫、良性腫瘍
- 褥瘡、難治性潰瘍
- リンパ浮腫

### 《詳細に関するお問い合わせ》

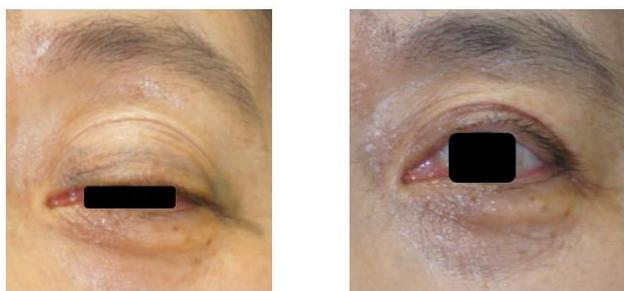
滋賀医科大学医学部附属病院 形成外科外来  
（診療科長：谷 眞至）  
（担当医：鈴木 義久、岡野 純子）  
TEL：077-548-2556（外来）

### 《プレスリリースに関するお問い合わせ》

滋賀医科大学 企画課（担当：奥村）  
TEL：077-548-2012  
e-mail：hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

鈴木義久医師からのメッセージ：

都市圏の総合病院では、すでに形成外科の診療が広く一般的に行われています。滋賀県唯一の大学病院で形成外科診療を開始し、滋賀県の医療に貢献したいと思います。特に、乳がん患者さんの乳房再建については、乳腺外科と協力して体制を整えています。乳がん患者さんは年々増加傾向にありますが、切除後の再建は、従来は自家組織移植によるものしか保険適応がありませんでした。しかし、最近ゲル充填人工乳房による乳房再建が保険適応になって以来、他府県ではこの方法で乳がん切除後の再建をされる患者さんが激増しています。その他、整容面でお悩みの患者さんは受診してください。



眼瞼下垂症： 術前（左）と術後（右）